



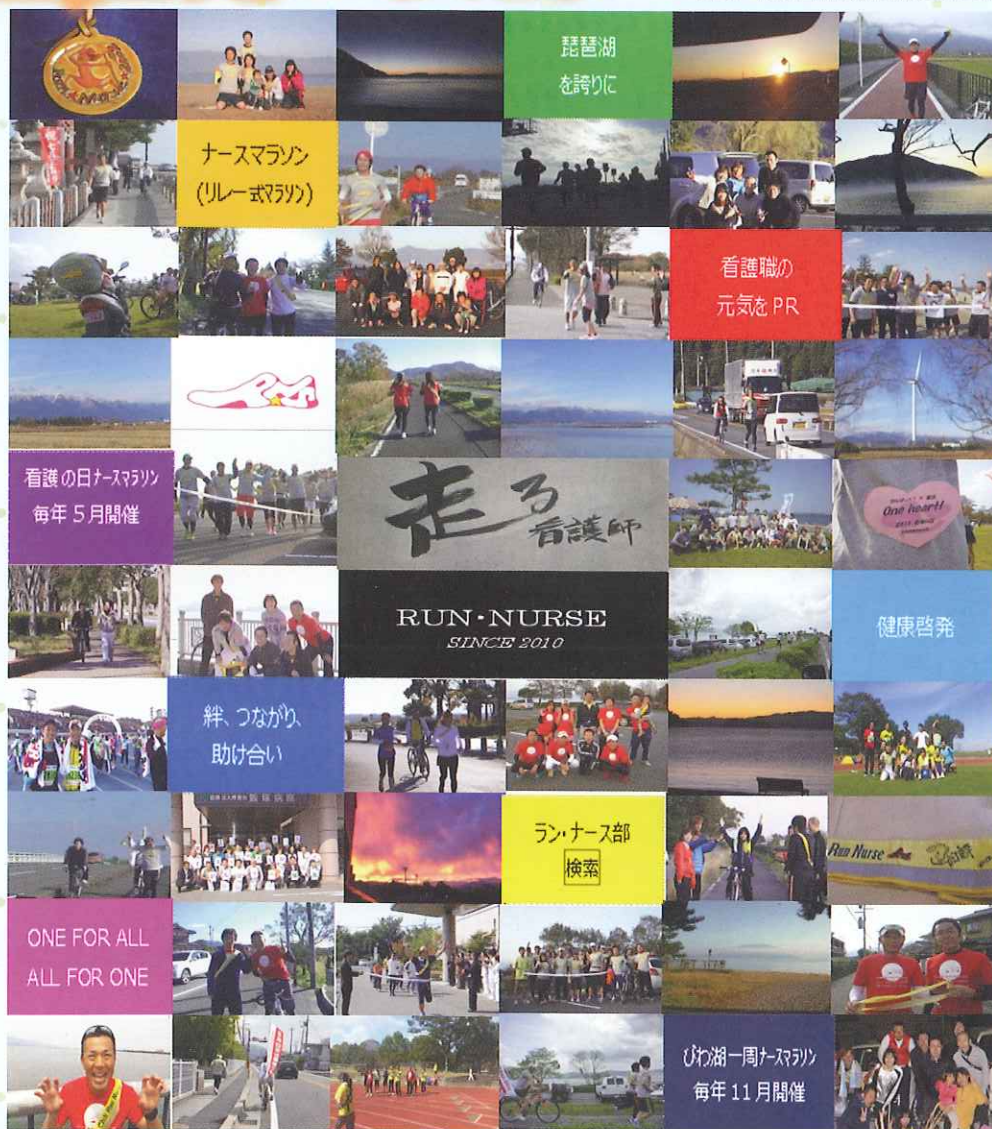
滋賀県看護協会会員数
(平成25年1月10日現在)

(1) 2013.1

保健師/324人 助産師/239人 看護師/6,679人 准看護師/274人 合計 7,516人

一番星見つけた!

2010年に誕生したマラソンチームです。全国、全世界規模で“走る看護師”の拡大を目指しています。すでに、職域や種目の垣根を越えて、にぎやかなエンジョイクラブになっています。お気軽にご参加下さい。
代表 伏田善祐(所属:滋賀県立精神医療センター)



もくじ

- 一番星見つけた!1
- ワーク・ライフ・バランスの取り組み2
- 滋賀県看護学会3
- 研修報告「エンド・オブ・ライフ・ケア(ELNEC-J)研修会 滋賀2012」...4

- 地区支部だより4・5
- 医療安全通信 vol.105
- 看護協会長日誌・「SHIGA! はたさぼ通信」...6
- 滋賀県ナースセンターからのお知らせ7
- 事務局だより8

看護職のWLB推進ワークショップ 参加施設の途中経過を報告します

働きやすい職場づくりをめざし頑張っています。

済生会滋賀県病院

育児・介護に関する制度を周知するため2種類のリーフレットを作成。部署毎で職場分析をする
とともに、前残業・時間外勤務時間の実態から、
課題分析、改善策の検討をおこなっています。



小児保健医療センター

調査から見えてきた時間外業務の時間短縮を図
るため、時間外業務内容の整理に向けて実際の現
状調査を行っています。取り組みは、職員が一丸
となっていくことが重要であると身にしみて感じ
ております。少しずつでも改善し、皆がやりがい
感をもって働ける職場づくりを目指したいと思
います。



琵琶湖大橋病院

「お互いを認め合い、看護の専門職としていき
いきと働き続けられる職場づくりをめざす」とい
うビジョンを打ち出し、アクションプランとして①
WLB推進委員会の立ち上げ②制度の周知方法に
ついて検討③業務改善に向けて問題点を洗い出し
た。各プランには、リーダーを配置して看護部全
体で取り組み、活動はチームで行い、課長主任会
で進捗状況を共有して楽しく活動しています。



豊郷病院

3年後のゴールをめざして具体的にできること
から取り組みをスタートしました。全員への説明
会、業務の洗い出し、看護体制の見直しなど「継
続は力なり！」そして「小さなことからコツコ
ツと！」がんばっています。

25年度看護職のワークライフバランス (WLB) 推進ワークショップ参加施設を募集します。

平成24年度(第18回) 滋賀県看護学会が開催されました

日時 12月18日(火) **会場** 看護研修センター

石橋美年子学会長のあいさつより始まった滋賀県看護学会。当日は、約150名の参加があり、13題の口演と5題の示説発表がありました。

特別講演として、前神戸大学医学部附属病院副院長・看護部長 大島敏子氏を迎え、「チーム医療を再考する～看護に携わる私たちができること～」をテーマに講演をいただきました。2025年を迎えようとしている現在、急性期から在宅へとシフトする医療のニーズが高まってきています。それに伴って、セルフメディケーションが重要となりますが、看護職の私たちには何ができるのかが問われています。今まで以上に、専門性が問われる時代となりつつあります。チーム医療は他職種連携がカギとなり、それぞれがそれぞれの専門性を十分に発揮し互いに尊重・協働し合って作り上げていくものです。そのためには、コミュニケーションスキルを磨き、それぞれが「繋がり」医療をおこなうことが重要となります。大島敏子氏より滋賀県下の東近江地域で行われている「三方よし研修会」についてお褒めの言葉をいただきました。今回、改めて自分の足下を照らし看護職の役割とは何なのか、学会に参加した皆さんと考える機会となりました。



セラピスト 吉田由起子氏による「色と香りで心のメンテナンス」 カラー&アロマセラピーも行われました。当日は、バースデーカラーボトルの販売もあり、自分自身の心理を知る機会となり、皆さん興味をもって参加されていました。

また、参加者の方から、今年度から看護研修センターでの開催となったことでアクセスや会場設営の良さを聞くことができました。また座長や発表者、参加者と一体となり発表を聞くことができたという声もあり、運営の良さも感じることができました。



参加者のアンケート結果

発表者

- 研究期間、何度もつまずき挫折しそうになりましたが、最後までやり遂げることが出来ました。やりきった事で看護師としても成長できたので良かったです。
- 査読を通して再考する機会となり勉強になりました。また、論文の書き方や考えを整理することができ、研究を深めることができました。
- 自分の病院以外で発表することで自分の経験になり他の病院のスタッフから質問を受け情報交換することで新しい意見・刺激をもらった。

参加者

- 大島先生の講演がすごく前向きにチームの一員として頑張っていこうと思えるものだった。
- 大島先生の講演で元気を頂いた。
- 患者・家族の指導に興味があったので、今回の研究発表がすごく参考になった。昨年10年ぶりに看護協会に再加入したので、また機会があれば発表したい。

平成25年度も看護実践をディスカッションできるよう、より多くの演題応募をお待ちしています

研修報告

エンド・オブ・ライフ・ケア (ELNEC-J) 研修会 滋賀2012

～ 終末期の看護を学ぶ～

日時 2012年9月7日(金)～9月8日(土)
受講者30名 (うち修了者29名)

場所 看護研修センター

講師 がん看護専門看護師……………吉田 智美
がん性疼痛看護認定看護師……………富永 治美
緩和ケア認定看護師……………辻森 弘容
がん看護専門看護師・緩和ケア認定看護師…杉江 礼子
…喜多下真里



終末期看護の系統的な研修プログラムに沿って、2日間の研修が行われました。

エルネットJ (モジュール1～10) の統一された内容でアセスメントやケア計画を豊富なデータと、関連する理論を合わせて進められました。

受講生からは、「患者の死への援助について学ぶ機会がなかったが、患者らしい生を全うするため、患者、家族、看護者に必要なケア」「日々の業務で深く考えない部分もあり目が覚めた」「自分の弱み、チームの強みなど看護の振り返りができ内容の濃い研修」など多くの声が寄せられました。

研修の最後には石橋会長から修了書が授与され、充実した2日間となりました。

今後もより多くの皆さんに研修を受講していただき、県民の皆様により終末期ケアが提供できることを期待しています。

エルネットJ (ELNEC-J) とは

End-Life Nursing Education Consortiumの略

2000年に米国のアメリカ看護大学協会 (AACN) とCity of Hope National Medical Centerが設立した共同体で開発されたものである。

ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育用プログラムは米国で開発されたものを日本語版に翻訳されたものである。

日本では2007年から指導者養成が始まり2009年より日本緩和医療学会の事業としてスタートした。

第1地区支部だより

第1地区支部では、10月21日(日)に大津消防との協働でおおつ健康フェスティバルに参加し【救急蘇生・AED体験】を行いました。参加人数91名と多くの方に体験していただくことができ大盛況でした。

近年AEDが各店舗や施設内に設置されていることもあり、参加者の中には「〇〇にも置いてあるな」と興味深く話している方もおられました。

突然目の前で人が倒れた時に、ただの傍観者になるのではなく、意識の確認や人と物を集めることができ、救急隊の到着までに救急蘇生ができるようになればと思います。

このような救急蘇生の体験を多くの方に体験していただくことは必要なことであり、もっとアピールしていくことが大切だと感じました。



第3地区支部だより

地区会員とその家族で地元地域の文化を体験しました！

- 日時** 10月20日(土)
- 場所** 掘り出し倉庫 陶珍館 (とんちんかん) 陶芸教室
- 目的** 第3地区に所属する信楽地域の特産物『信楽焼き』陶器作りを体験し、地元文化を知るとともにメンバーの交流を深める。

秋の気配感じるすがすがしい一日、第3地区レクリエーション事業として信楽の地で子供7名含む34名が信楽焼き陶芸体験を行ないました。慣れない手つきでインストラクターの方にご指導いただきながら、粘土をひも状に伸ばし、積み重ねて陶器を制作しました。途中で潰れてしまったり、思うような形に仕上げる事ができなかつたりして、何度もやり直ししながら各々が目的とする器を作りました。

陶器は『作る楽しみ』『使う楽しみ』『鑑賞する楽しみ』などいろいろあると思いますが、自分自身で制作することでその後の使い方に楽しみがより増すように感じます。

陶芸の目で見て優しく手を添えて創造することは、普段私たちが行なっている看護の心に通じるところがあると思います。焼き上がりまでもうしばらく。自分だけのオリジナル陶器が出来上がるのを楽しみにしています。皆さんも是非信楽町にお立ち寄りの際は陶芸体験もしていただき、第3地区の自然を体感していただければと思います。



第5地区支部だより

福利厚生 親睦会 「自分で出来るゆがみ体操」



平成24年9月8日(土) 愛荘町立福祉センターに講師の外川光延先生に来ていただき、研修を行ないました。

研修内容は日頃の疲れを癒していただくために、昨年も好評であった自分で出来るゆがみ体操を行い、34名の方に参加していただきました。

感想として「スッキリできた」「リフレッシュできた」「腰痛緩和法が聞けてよかった」「腰のゆがみが治った」など昨年につづき、よい評価を頂きました。

研修終了後は、参加者の皆さんと親睦会を行ない、少しの時間でしたが、楽しい時間を過ごすことができました。



その他にも

その他にも今年度は、4月21日(土)にカラーセラピー、7月24日(火)~26日(木)にパソコン教室、11月17日(土)にまちの保健室を開催しました。

たくさんの方に参加していただき、ありがとうございました。



医療安全通信

医療安全推進委員会 vol.10

医療安全相談窓口からのお知らせ

滋賀県看護協会では看護職の皆さんの、医療・看護に関する安全対策などの相談について迅速に対応し、具体的な情報の提供および助言をしています。また、医療事故が発生した場合の対応および看護職へ支援する

ことを目的としています。相談に際しましては、公平で中立的な立場で対応し、プライバシーの保護など倫理的な配慮を行います。お気軽にご相談ください。

相談体制

- 場所 ▶ 滋賀県看護研修センター内
 - 時間 ▶ 9:00~17:00 (平日のみ)
- TEL 077-564-6468 FAX 077-562-8998



看護協会長 Mine日誌

～夕日百景と渡り鳥～

湖北、琵琶湖には渡り鳥がたくさん飛んできます。少しリラックスしてバードウォッチングを楽しみ渡り鳥を撮影しました。夕日百景ともいわれている所です。

さて、9月から12月までの動きをお伝えします。継続して今年度の保健医療計画策定の会議に多く出席しました。小規模施設の看護職の研修、認知症研修の継続の重要性について、また訪問看護と小規模多機能型居宅介護を組み合わせた複合型サービスの設置、及び経営の安定化や人材確保の面から基幹型訪問看護ステーション設置の必要性について発言しました。数値目標としては、在宅医療を担う訪問看護師数の増加が取り上げられました。

もうひとつは、次年度予算の要望活動があります。滋賀県や、各政党に予算要望書を提出しヒアリングに出席させていただいたことです。重点事項として3点要望しました。1点目に、ワーク・ライフ・バランスの推進のための継続支援及び労働局との連携、協力 2点目に、夜間の病院における多忙さを訴え、特に認知症患者さんの見守り体制など環境の整備と認知症専任の人材の配置の体制化 3点目に、在宅医療を担う看護職員確保として、各圏域にハローワークに相談窓口の開設、及び再就職コーディネーターを増員し地域に応じた人材確保、さらに、潜在看護師が把握できる仕組みとして、看護師登録の制度化などについて要望してまいりました。

看護職能団体の代表としての発言の場をいただけることに重責を一層感じています。まだまだ緊張の毎日です。会長室にお立ち寄りください。そして現場のお声をお届けください。



E-mail: kaicho@shiga-kango.jp

SHIGA! はたさぽ通信



明るく・笑顔をモットーに

出張相談で県内を巡回しているお陰で、車窓から見える湖西・湖北・甲賀の山々や琵琶湖の変わりゆく季節、自然の素晴らしさに感動しています。滋賀に住んで良かったと思う日々です。

県内8か所の「出張就職相談窓口」がスタートして早8か月が経過しました。少人数ですが、就業されました。連絡しますと「元気な声」で返事を頂き、私も自然と笑みがこぼれ元気を頂いています。相談者の相談内容は様々ですが、相談員として「明るく笑顔」をモットーに、「じっくり話を聴く」姿勢を心がけています。就職相談に限らず、その他相談もお受けしますので、お気軽にお問合せ下さい。

リスタートサポート研修(訪問看護編)第1回懇談会を開催しました。座学は、各講師が担当分野を解りやすく講義して頂き熱意を感じました。実習では、担当者が温かく対応していただき楽しい実習となり「在宅での利用者の穏やかな表情や家族関係が和やかに変わったこと」や「医師と看護師が地域で動いている状況を肌で感じられた」と受講者の感想でした。また、座学や懇親会を通して「受講者間の仲間作りができた」との声もありました。受講者は、訪問看護のやりがいを肌で感じて4人が訪問看護ステーションの就職につながりました。ナースセンターにも嬉しいお知らせでした。



滋賀県ナースセンターからのお知らせ



在宅医療福祉を担う看護職員専門研修 リスタートナースサポート研修（訪問看護）を開催しました



- 第1回 平成24年 8月30日～ 9月27日（10日間 参加者6名）
- 第2回 平成24年10月30日～12月03日（10日間 参加者6名）
- 第3回 平成25年 1月 8日～ 1月31日（10日間 参加者9名） **開催中**

内容：訪問看護概論・組織運営、基本姿勢・看護倫理、褥瘡ケア、認知症-せん妄ケア、緊急時対応、感染管理、情報管理-地域連携、摂食-嚥下障害の看護、薬剤の知識、リスクマネジメント

参加者の声

働けるよう
実習場所を
選択できた



最新の情報
や演習が学
べた

託児があり
参加しやす
かった

受講者間で
仲間ができ
た

懇談会があ
り意見交換
できた

ナースセンターにご登録ください

(求人・求職登録の有効期限は6カ月です)

求人施設の方へ

- 職場のパソコンで求職者の簡易情報（個人情報除く）の検索ができます。
- 看護職の紹介をさせていただきます（注：派遣ではありません）
- 就職面接会等のご案内を送付させていただきます。
- 退職される看護職の方がおられましたらナースセンターへの登録をお奨めください。

看護職の方へ

- ご自宅のパソコンで求人情報の検索ができます。
- お仕事の紹介をさせていただきます（注：派遣ではありません）
- 研修や、就職面接会等のご案内を送付させていただきます。
- お知り合いで休職中の方がおられましたらナースセンターへの登録をお奨めください。

登録は、e-ナースセンターのホームページからできます。
インターネットを使用されない方はナースセンターへお問い合わせください。



類似サイトにご注意ください!

「ナースバンク」や「ナースセンター」「e-ナースセンター」と類似の名称を使用した職業紹介事業者や人材派遣事業者とその求人・求職サイトにご注意ください。これらの文言を使用してサイトへの誘引を行っている場合があります。

このような事業者と滋賀県ナースセンター（滋賀県看護協会）とは一切関係はありませんので、十分ご確認のうえ登録して頂きますようお願いいたします。

東日本大震災被災3県での看護師不足について

東日本大震災の発災以降、被災3県において、看護職員の確保が困難な状況が続き深刻な問題となっています。被災県の看護職員確保支援のため、被災県内の医療機関等の求人情報を、特設情報としてe-ナースセンタートップページで提供しています。どうぞご利用ください。



事務局だより

理事会報告

第4回 9月15日(土)

- 審議事項**
- 1) 資金の運用について
 - 2) 在宅ケアセンターみのり経営改善短期計画に伴う人材の確保について

- 協議事項**
- 1) 新公益法人の規程等について
 - 2) 滋賀県への要望書の提出について
 - 3) 地区別法人会・近畿地区看護協会連絡会における協議事項について

第5回 10月20日(土)

- 協議事項**
- 1) 平成24年度事業の進捗状況と課題・対応について
 - 2) 新公益法人の規程等について

第6回 11月17日(土)

- 協議事項**
- 1) 平成25年度重点事業(案)及びスローガンの廃止について
 - 2) 新公益法人の規程等について
 - 3) 在宅ケアセンターみのり長期計画について

第7回 12月15日(土)

- 協議事項**
- 1) 新公益法人の規程等について
 - 2) 常任・特別委員長会議の運営について

(社) 滋賀県看護協会役員・委員等の立候補者の受付について

選挙管理委員長 西村 路子

平成25年5月25日に開催予定の滋賀県看護協会通常総会において、滋賀県看護協会役員及び推薦委員並びに平成26年度日本看護協会通常総会に出席する代議員及び予備代議員の選出並びに補欠役員選挙を行います。

平成25年4月1日には公益社団法人となる予定で、公益社

団法人として初めての役員等の選出にあたり、下記の要領で立候補を受け付けます。

なお、役員等は本会の会員であり、本会の目的を理解し、組織強化・発展のために定められた会議に出席し、積極的に責務を遂行すること等が求められます。

記

1. 立候補の方法

立候補される方は、正会員5名以上の推薦を受けて、届出用紙に必要事項を記入の上、看護協会事務局へ提出してください。届出用紙は事務局にあります。(ホームページからもダウンロードできます。http://www.shiga-kango.jp)

2. 立候補の受付期間

平成25年2月1日～平成25年2月15日(2月15日必着)

- 3. 立候補届送付先** 〒525-0032 草津市大路二丁目11番51号
(社) 滋賀県看護協会事務局宛

4. 平成25年度選挙する役職名及び改選数

- 役員11名 副会長候補者2名(助産師・看護師)
理事8名(専務理事1名・常務理事2名・職能理事2名・地区理事3名)
監事1名 推薦委員7名
平成26年度日本看護協会通常総会代議員9名及び予備代議員9名
5. 平成25年度補欠役員選挙(残期1年)
副会長候補者1名(保健師)

輝いている人・施設募集!

宛先 滋賀県看護協会 e-mail sigakan@gold.ocn.ne.jp

輝いている職員、施設を毎号表紙の「一番星見つけた!」に掲載します。皆さんの近くに輝く人や輝く施設はありませんか?ぜひこの機会にご紹介ください。宛先は、滋賀県看護協会に電子メールで「ナースレーク一番星見つけた!」係まで写真とアピールポイントを添えてお願い致します。



編集後記

皆さん、寒さ厳しい毎日ですがいかがお過ごしでしょうか。今年は、巳年で皆さんどんなものに巻かれていますか?今年は、一人でも多く輝いている人を見つけて皆さん自分のいいところ・施設のいいところをたくさんアピールしてくださいね。(K.I)

あなたの夢が拓きます

放送大学

4月入学生募集

出願期間 平成24年12月1日～平成25年2月28日まで

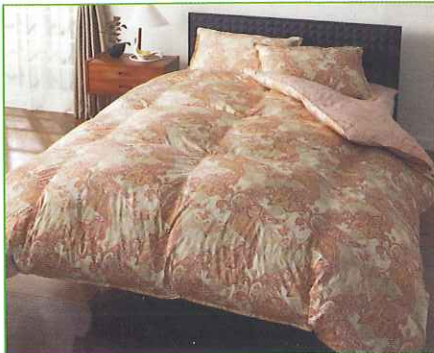
放送大学は、看護師の方のキャリアアップを応援しています。お気軽にご相談下さい。

放送大学は、BSデジタル放送(テレビ:231ch、ラジオ:531ch)やインターネット等を利用して授業を行う通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい方等、様々な目的で幅広い世代、職業の方が学んでいます。

学士(教養)の学位取得、大学評価・学位授与機構を利用して、学士(看護学)の学位取得や認定心理士の資格取得を目指せます。入学試験はありません。1科目でも学べます。ぜひあなたも学んでみませんか。

放送大学 滋賀学習センター Tel. 077-545-0362 Fax:077-545-2096

〒520-2123 大津市瀬田大江町横谷1-5 龍谷大学瀬田キャンパス内



東洋羽毛は、滋賀県の看護師さんを応援しています。

ご婚礼布団のご用命は、東洋羽毛にご相談ください。



滋賀県看護協会推薦
TUK 東洋羽毛 0120-585-104
HP http://www.toyoumo.co.jp
東洋羽毛東海販売株式会社 三重営業所 〒514-0003 三重県津市桜橋3-67-13

社団法人 滋賀県看護協会 ホームページ: <http://www.shiga-kango.jp/>